

「平成25年度日本エネルギー学会 学会賞(技術部門)」受賞について

記者各位

当社(社長:一色誠一)は、このたび、一般社団法人日本エネルギー学会^{※1}において、「高収率でプロピレンを生産する次世代FCC(HS-FCC^{※2})プロセスの実証^{※3}の成功」が評価され、「平成25年度日本エネルギー学会 学会賞(技術部門)」を受賞し、昨日2月26日(水)、下記の通り表彰式が開催されましたので、お知らせいたします。

日本エネルギー学会学会賞は、エネルギーに関する学術分野(学術部門)および技術分野(技術部門)において、特に顕著な業績・成果を挙げた個人または団体を表彰するものです。

HS-FCC(高過酷度流動接触分解)は、従来型のFCC(流動接触分解)がアップフロー(重力に逆らう流れ)であるのに対して、重力に逆らわないダウンフローを採用することで反応時間が均一になり、プロピレンや高オクタンガソリン等を高収率で生産できる画期的な技術です。

当社水島製油所に処理量3,000バレル/日の実証化装置を建設し、2011年5月から実証運転を行ってきた実績が高く評価され、今回の受賞となりました。

記

<表彰式の概要>

1. 受賞対象:「高収率でプロピレンを生産する次世代FCC(HS-FCC)プロセスの実証の成功」
2. 日 時: 2月26日(水) 14:10~14:40
3. 場 所: 学士会館(東京都千代田区神田錦町3-28)



左:中央技術研究所 燃料研究所 CRI・触媒グループ グループマネージャー 藤山 優一郎

※1 産・官・学等の連携のもと、「エネルギーに関する科学及び技術の進歩発展を図り、もって我が国の産業の発展及び国民生活の向上に貢献する」

ことを目的として1921年に設立された一般社団法人で、正会員約1,400名を擁する学会

※2 High Severity Fluid Catalytic Cracking

※3 経済産業省の公募事業「革新的次世代石油精製等技術開発事業」の一環として実施